

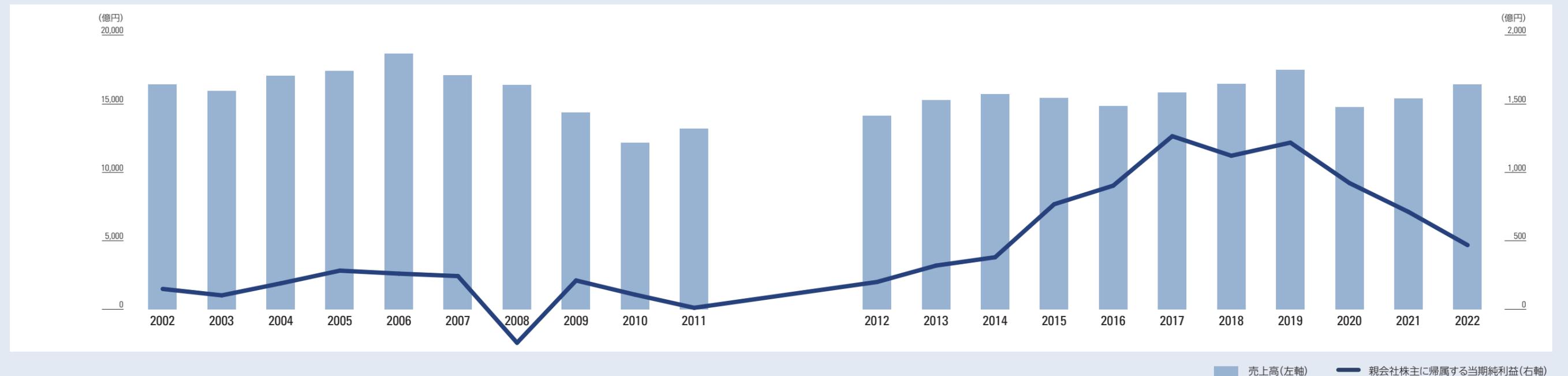
データセクション | 主要財務データ・業績の歩み

主要財務データ(連結)

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
受注高	(百万円)	1,404,406	1,645,895	1,765,743	1,671,061	1,655,035	1,743,497	1,693,859	1,680,051	1,650,627	1,589,745	1,810,445
売上高	(百万円)	1,416,495	1,533,473	1,573,270	1,545,889	1,487,252	1,585,497	1,650,877	1,751,330	1,480,141	1,543,240	1,642,712
営業利益	(百万円)	35,606	53,773	70,417	117,468	140,822	181,859	153,323	167,755	130,516	96,077	54,740
経常利益	(百万円)	35,063	56,756	74,467	117,703	144,591	185,349	157,936	173,347	135,937	103,247	63,125
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	20,050	32,089	38,177	77,045	90,566	126,788	112,571	122,087	92,554	71,436	47,124
包括利益	(百万円)	56,500	46,612	101,214	37,665	92,788	148,657	119,290	86,343	138,303	74,765	36,600
純資産額	(百万円)	343,300	384,166	492,114	521,277	570,813	669,019	722,390	753,915	844,420	872,835	833,944
総資産額	(百万円)	1,543,094	1,599,065	1,735,248	1,660,821	1,760,078	1,910,597	1,846,176	1,889,995	1,870,622	1,956,200	2,016,717
1株当たり純資産額*	(円)	299.84	335.42	418.61	442.67	2,483.01	2,975.02	3,302.86	3,550.03	4,084.81	4,335.78	4,402.01
1株当たり当期純利益*	(円)	17.60	28.17	33.52	65.85	392.87	561.36	511.90	573.14	442.66	350.88	241.24
自己資本比率	(%)	22.1	23.9	28.2	31.2	32.3	34.9	39.0	39.7	44.9	44.4	41.1
自己資本利益率(ROE)	(%)	6.3	8.9	8.8	15.3	16.7	20.5	16.2	16.6	11.6	8.4	5.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	73,081	138,749	24,078	95,360	218,158	207,020	△71,028	77,475	67,494	80,507	30,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△4,703	16,028	△13,975	△25,070	6,296	△11,852	△82,288	33,260	△18,683	△37,680	△14,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△46,551	△68,826	△30,470	△35,171	△60,061	△41,682	△96,197	△66,647	△37,342	△41,863	△98,668
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	265,772	354,372	337,166	371,730	534,787	687,346	437,584	482,655	494,274	496,760	415,863
有利子負債	(百万円)	379,072	316,493	273,289	254,695	238,145	247,379	217,423	208,146	219,017	224,323	201,700

* 2017年10月1日付で当社株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2016年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しています。

業績の歩み(連結)



■ 売上高(左軸) ■ 親会社株主に帰属する当期純利益(右軸)

データセクション | 連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

	2022年3月期	2023年3月期
資産の部		
流動資産		
現金預金	499,113	415,950
受取手形・完成工事未収入金等	575,600	688,768
未成工事支出金	47,443	67,658
棚卸不動産	117,831	131,439
その他の棚卸資産	3,389	4,003
その他	53,079	45,847
貸倒引当金	△100	△182
流動資産合計	1,296,356	1,353,485
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	153,961	161,554
機械、運搬具及び工具器具備品	64,868	68,273
土地	120,914	120,488
建設仮勘定	4,068	5,354
減価償却累計額	△136,376	△142,320
有形固定資産合計	207,435	213,349
無形固定資産	16,016	17,581
投資その他の資産		
投資有価証券	380,271	386,906
退職給付に係る資産	23,230	10,875
繰延税金資産	3,543	5,918
その他	31,215	30,570
貸倒引当金	△1,869	△1,969
投資その他の資産合計	436,391	432,300
固定資産合計	659,844	663,232
資産合計	1,956,200	2,016,717

	2022年3月期	2023年3月期
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	423,349	476,115
短期借入金	97,901	81,965
ノンリコース短期借入金	15	11
1年内償還予定の社債	20,000	—
リース債務	318	347
未成工事受入金	160,733	181,226
預り金	156,315	170,995
完成工事補償引当金	3,250	3,325
工事損失引当金	14,163	47,897
その他	50,317	60,767
流動負債合計	926,363	1,022,652
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	66,279	79,606
ノンリコース長期借入金	128	117
リース債務	592	716
繰延税金負債	12,824	1,711
再評価に係る繰延税金負債	3,274	3,274
役員退職慰労引当金	435	508
役員株式給付引当金	48	48
環境対策引当金	1	—
退職給付に係る負債	15,054	15,037
その他	18,363	19,100
固定負債合計	157,002	160,120
負債合計	1,083,365	1,182,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	122,742	122,742
資本剰余金	30,382	30,382
利益剰余金	591,383	562,774
自己株式	△898	△906
株主資本合計	743,609	714,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,535	97,090
繰延ヘッジ損益	△8	△6
土地再評価差額金	1,223	1,235
為替換算調整勘定	△1,903	237
退職給付に係る調整累計額	28,429	15,638
その他の包括利益累計額合計	125,277	114,194
非支配株主持分	3,948	4,756
純資産合計	872,835	833,944
負債純資産合計	1,956,200	2,016,717

連結損益計算書

単位:百万円

	2022年3月期	2023年3月期
売上高		
完成工事高	1,385,516	1,499,803
開発事業等売上高	157,723	142,909
売上高合計	1,543,240	1,642,712
売上原価		
完成工事原価	1,224,426	1,378,637
開発事業等売上原価	131,077	116,301
売上原価合計	1,355,503	1,494,939
売上総利益		
完成工事総利益	161,090	121,165
開発事業等総利益	26,646	26,607
売上総利益合計	187,736	147,773
販売費及び一般管理費		
販売費	41,666	40,698
一般管理費	49,993	52,333
販売費及び一般管理費合計	91,659	93,032
営業利益	96,077	54,740
営業外収益		
受取利息	1,680	543
受取配当金	4,701	5,366
為替差益	428	1,024
持分法による投資利益	893	2,054
その他	719	721
営業外収益合計	8,423	9,709
営業外費用		
支払利息	910	861
租税公課	120	154
その他	222	309
営業外費用合計	1,253	1,325
経常利益	103,247	63,125
特別利益		
投資有価証券売却益	1,760	2,405
関係会社出資金売却益	—	3,925
その他	17	236
特別利益合計	1,778	6,567
特別損失		
固定資産売却損	128	485
減損損失	843	295
固定資産除却損	130	246
投資有価証券評価損	52	198
和解金	—	203
その他	366	168
特別損失合計	1,522	1,597
税金等調整前当期純利益	103,503	68,094
法人税、住民税及び事業税	34,211	28,369
法人税等調整額	△2,276	△7,630
法人税等合計	31,935	20,738
当期純利益	71,567	47,356
非支配株主に帰属する当期純利益	131	231
親会社株主に帰属する当期純利益	71,436	47,124

連結包括利益計算書

単位:百万円

	2022年3月期	2023年3月期
当期純利益	71,567	47,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,681	△447
繰延ヘッジ損益	△7	△4
為替換算調整勘定	1,581	2,136
退職給付に係る調整額	6,729	△12,776
持分法適用会社に対する持分相当額	575	337
その他の包括利益合計	3,197	△10,755
包括利益	74,765	36,600
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	74,462	36,030
非支配株主に係る包括利益	302	570

データセクション | 連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書

2022年3月期 単位:百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	122,742	60,198	621,568	△85,916	718,593	103,215	△15	1,223	△3,847	21,675	122,251	3,575	844,420
会計方針の変更による累積的影響額			178		178								178
会計方針の変更を反映した当期首残高	122,742	60,198	621,747	△85,916	718,772	103,215	△15	1,223	△3,847	21,675	122,251	3,575	844,599
当期変動額													
剰余金の配当			△26,598		△26,598								△26,598
親会社株主に帰属する当期純利益			71,436		71,436								71,436
自己株式の取得				△20,007	△20,007								△20,007
自己株式の処分				6	6								6
自己株式の消却		△105,018		105,018	-								-
利益剰余金から資本剰余金への振替		75,202	△75,202		-								-
土地再評価差額金の取崩			0		0			△0			△0		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額) ^(注)						△5,679	7		1,944	6,754	3,026	372	3,398
当期変動額合計	-	△29,816	△30,364	85,017	24,837	△5,679	7	△0	1,944	6,754	3,026	372	28,236
当期末残高	122,742	30,382	591,383	△898	743,609	97,535	△8	1,223	△1,903	28,429	125,277	3,948	872,835

(注) 土地再評価差額金の取崩による変動額を除いています。

2023年3月期 単位:百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	122,742	30,382	591,383	△898	743,609	97,535	△8	1,223	△1,903	28,429	125,277	3,948	872,835
会計方針の変更による累積的影響額													-
会計方針の変更を反映した当期首残高	122,742	30,382	591,383	△898	743,609	97,535	△8	1,223	△1,903	28,429	125,277	3,948	872,835
当期変動額													
剰余金の配当			△25,722		△25,722								△25,722
親会社株主に帰属する当期純利益			47,124		47,124								47,124
自己株式の取得				△50,007	△50,007								△50,007
自己株式の処分		0		0	0								0
自己株式の消却		△49,999		49,999	-								-
利益剰余金から資本剰余金への振替		49,999	△49,999		-								-
土地再評価差額金の取崩			△11		△11			11			11		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額) ^(注)						△445	1		2,140	△12,791	△11,094	807	△10,286
当期変動額合計	-	-	△28,609	△7	△28,616	△445	1	11	2,140	△12,791	△11,082	807	△38,890
当期末残高	122,742	30,382	562,774	△906	714,992	97,090	△6	1,235	237	15,638	114,194	4,756	833,944

(注) 土地再評価差額金の取崩による変動額を除いています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2022年3月期	2023年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	103,503	68,094
減価償却費	10,907	11,478
減損損失	843	295
貸倒引当金の増減額(△は減少)	146	183
工事損失引当金の増減額(△は減少)	12,055	33,734
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,847	△24
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△11,559	12,354
受取利息及び受取配当金	△6,382	△5,909
支払利息	910	861
為替差損益(△は益)	△428	△1,024
投資有価証券評価損益(△は益)	52	198
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,662	△2,300
関係会社出資金売却損益(△は益)	-	△3,925
固定資産売却損益(△は益)	117	329
固定資産除却損	130	246
持分法による投資損益(△は益)	△893	△2,054
売上債権の増減額(△は増加)	△35,560	△112,919
未成工事支出金の増減額(△は増加)	3,833	△20,206
棚卸不動産の増減額(△は増加)	2,060	△13,761
未収入金の増減額(△は増加)	△19,229	8,562
仕入債務の増減額(△は減少)	46,737	52,384
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△12,784	20,312
預り金の増減額(△は減少)	14,453	14,639
その他	6,798	△7,058
小計	111,203	54,491
利息及び配当金の受取額	7,248	8,123
利息の支払額	△915	△879
法人税等の支払額	△37,030	△31,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,507	30,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△2,319	2,539
有形及び無形固定資産の取得による支出	△13,230	△16,163
有形及び無形固定資産の売却による収入	263	759
投資有価証券の取得による支出	△25,934	△13,593
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,525	12,300
その他	15	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,680	△14,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△3,462	584
長期借入れによる収入	24,200	34,350
長期借入金の返済による支出	△25,417	△37,542
ノンリコース長期借入金の返済による支出	△15	△15
社債の発行による収入	9,942	-
社債の償還による支出	-	△20,000
自己株式の取得による支出	△20,007	△50,007
配当金の支払額	△26,598	△25,722
その他	△505	△315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,863	△98,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,523	1,728
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,485	△80,896
現金及び現金同等物の期首残高	494,274	496,760
現金及び現金同等物の期末残高	496,760	415,863

データセクション | ESGデータ

環境データ

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022	
KPI ET	スコープ1+2 売上高あたりのCO ₂ 排出量削減率 ^{*1} (グループ) ^{*4}	—	—	—	3.3	▲13.8	
	スコープ1+2 総CO ₂ 排出量削減率 ^{*1} (グループ) ^{*4}	—	—	—	▲11.8	▲20.9	
	施工段階 売上高あたりCO ₂ 排出量削減率 ^{*2}	%	▲28.9	▲32.0	▲30.3	▲30.1	▲47.5
	施工段階 総CO ₂ 排出量削減率 ^{*2}	%	▲44.7	▲43.7	▲54.5	▲52.7	▲60.5
	運用段階 設計施工案件のCO ₂ 予測排出量削減率 ^{*2 *3}	%	▲40.2	▲39.5	▲41.4	▲44.6	▲49.8
	スコープ1+2 売上高あたりのCO ₂ 排出量(グループ) ^{*4}	t-CO ₂ /億円	—	21.3	22.1	22.0	18.4
スコープ1+2 総CO ₂ 排出量(グループ) ^{*4}	千t-CO ₂	361	368	318	325	291	
スコープ3 総CO ₂ 排出量(グループ) ^{*4}	千t-CO ₂	—	—	5,625	4,632	5,284	
ET	建築設計時のグリーン調達品目の採用	品目	9.7	10.0	11.7	11.7	12.8
	建設廃棄物の最終処分率の低減	%	3.4	3.9	2.7	2.8	2.8
	生物多様性向上に貢献するプロジェクトの推進	プロジェクト	—	52	44	72	50

*1 2019年度比 *2 1990年度比

*3 設計施工案件のCO₂予測排出量(ZEBの普及推進を含む)

*4 対象は当社と主要グループ7社

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

※ET=Annual Environmental Targets(年度環境目標)

年度環境目標(ET)、マテリアルフロー及びCO₂排出量等の
環境データ・指標の算定方法・基準、第三者保証については、
当社Webサイトをご覧ください

Web Q
「環境データ」

社会データ

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
従業員数(連結・就業人員数)	名	14,433	14,562	14,620	14,518	14,466
土木事業(連結)		4,108	4,161	4,257	4,263	4,268
建築事業(連結)		8,123	8,163	8,160	8,103	8,133
開発事業(連結)		2,056	2,074	2,044	1,979	1,898
その他(連結)		146	164	159	173	167
男性(連結)		11,906	11,971	11,959	11,822	11,722
女性(連結)		2,527	2,591	2,661	2,696	2,744
日本国籍社員(連結)		13,615	13,720	13,747	13,645	13,611
外国籍社員(連結)		818	842	873	873	855
従業員数(就業人員数)		8,490	8,507	8,572	8,579	8,613
土木事業		2,298	2,273	2,323	2,324	2,333
建築事業		6,040	6,072	6,084	6,084	6,109
開発事業		152	162	165	171	171
男性		6,949	6,937	6,970	6,955	6,939
女性		1,541	1,570	1,602	1,624	1,674
日本国籍社員		8,439	8,456	8,512	8,514	8,538
外国籍社員 ^{*1}		51	51	60	65	75
20代	%	16.5	17.1	18.0	18.5	18.6
30代		19.0	19.2	19.7	20.4	21.3
40代 ^{*2}		30.1	26.3	22.9	21.0	19.7
50代以上		34.4	37.4	39.4	40.1	40.4
非正社員数 ^{*3}	名	1,134	1,173	1,217	1,173	1,284

*1 2018年度-2021年度の数値を遡及修正。これに伴い、外国籍社員(連結)、日本国籍社員(単体・連結)を遡及修正

*2 2020年度の数値を遡及修正

*3 2020年度、2021年度の数値を遡及修正

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
採用数(新卒)	名	251	264	329	302	276
男性		207	215	270	253	218
女性		44	49	59	49	58
中途採用数		30	27	11	28	69
男性		29	22	11	23	60
女性		1	5	0	5	9
平均年間給与	千円	10,512	10,103	9,850	9,635	9,929

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
平均年齢	才	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0
男性		43.3	43.3	43.3	43.3	43.4
女性	才	41.8	41.8	41.6	41.5	41.2
平均勤続年数	年	18.3	18.3	18.3	18.2	18.1
男性		18.6	18.7	18.8	18.8	18.7
女性	年	16.6	16.5	16.2	15.9	15.6
離職率(グループ) ^{*1}	%	—	—	—	2.1	2.3
離職率 ^{*2}		1.1	1.2	1.2	1.5	1.6
離職率(入社3年以内) ^{*2}		5.4	7.4	7.6	8.3	10.0

*1 対象は当社と主要グループ7社 *2 自己都合退職率

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
KPI 女性管理職者数 ^{*1 *2}	名	167	197	236	277	314
AC 女性管理職者比率 ^{*2}	%	3.2	3.8	4.5	5.1	5.9
女性技術者数	名	663	698	738	767	809
AC 女性技術者比率	%	9.1	9.5	9.9	10.2	10.6
障がい者雇用率(グループ ^{*3})	%	—	—	—	2.10	2.15
障がい者雇用率		2.33	2.35	2.20	2.27	2.35
定年後再雇用者数	名	739	800	862	878	905
ジョブ・リターン ^{*4} 数		2	3	3	4	4

*1 2021年度の数値を遡及修正 *2 7月1日現在で集計 *3 対象は当社とグループ7社 *4 「ジョブ・リターン」についてはP.112用語集参照

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

※AC=Action plan女性活躍推進法に基づく行動計画(内閣府)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
育児休業者数	名	285	290	299	281	290
男性		244	241	253	232	248
女性		41	49	46	49	42
育児休業取得率	%	94.9	100	100	100	99.6
KPI 男性の育児休業取得率 ^{*1}	%	94.2	100	100	100	119
AC 男性の育児休業平均取得日数	日	—	—	7.1	9.7	11.6
女性の育児休業取得率	%	100	100	100	100	97.6
育児休業者復職率	%	97.7	99.7	100	99.7	96.6
男性		100	100	100	100	100
女性		97.5	97.9	100	97.9	95.6
育児フレックス勤務者数(累計)	名	12	27	35	45	58
介護休業利用者数	名	0	2	1	1	1
介護休暇取得者数 ^{*2}	名	—	—	—	175	179

*1 2018年度~2021年度については、社内制度に基づく算出方法(子供が生まれた男性従業員の育児休業等取得権利期間中における取得者の割合)により、2022年度は育児・介護休業法に基づく算出方法(分母:従業員のうち2022年度中に子供が生まれた者、分子:2022年度中に育児休業または育児目的の休暇を取得したのもの)により算出。2017年度以降に子供が生まれた男性従業員については100%を継続

*2 2021年度の数値を遡及修正

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

※AC=Action plan女性活躍推進法に基づく行動計画(内閣府)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
1か月当たり総労働時間数	時間	192.8	193.9	194.1	190.9	187.5
1か月当たり平均残業時間数	時間	37.8	39.0	39.8	38.5	36.6
KPI 健康管理残業時間 ^{*1}	—	—	—	年720時間 超過者25.8%	年720時間 超過者23.5%	年720時間 超過者18.2%
作業所の4週8閉所実施率(建築)	%	—	—	—	26.6	27.8
作業所の4週8閉所実施率(土木)	%	—	—	—	49.5	52.2
有給休暇取得率	%	47.5	46.2	46.5	49.3	54.5

*1 2020年度、2021年度、2022年度の数値を遡及修正

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

データセクション | ESGデータ

能力開発における研修・キャリアに関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
能力開発にかかる総研修時間	時間	—	261,059	233,143	231,706	566,424*
一人当たり研修時間		36.6	30.5	27.0	26.7	65.0*
総研修金額	千円	—	—	—	298,937	406,078*
総研修受講者人数(年間延べ人数)	名	—	—	—	4,360	76,585*
非正社員から正社員への登用者数	名	45	28	20	38	30
キャリア開発のレビュー実施率	%	87.7	86.5	88.0	89.0	88.2

* 2021年度までは、本社主催研修のデータを集計。2022年度より、支店主催研修及び全社e-Learning受講実績等も集計対象としている

健康・安全に関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
度数率(グループ)*1*2	—	0.58	0.64	0.37	0.56	0.38
度数率*2		0.43	0.62	0.35	0.44	0.31
強度率*2		0.14	0.26	0.34	0.08	0.01
労働災害休業件数(死亡災害件数除く)*2	件	50	74	35	45	35
KPI 死亡災害件数(グループ)*1*2	件	—	—	5	1	0
死亡災害件数*2	件	2	4	5	1	0
社員の死亡者数*2	名	0	0	0	0	0
協力会社の死亡者数*2		2	4	5	1	0
安全衛生研修を受けた社員数		1,025	1,049	1,063	1,200	1,298
ストレスチェック実施率	%	89.8	90.2	91.6	91.0	92.0

*1 対象は当社と主要グループ6社 *2 1月~12月で集計

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

技術開発・知的財産に関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
研究開発費(連結)	億円	124	135	142	152	168
特許権利(登録)件数	件	250	169	202	209	232
KPI 特許出願件数	件	219	188	266	272	283
ZEB化建物受注件数		—	—	5	6	10

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

品質/生産性に関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
KPI お客様満足度(建築)	%	92	88	90.0	90.0	85.9
お客様満足度(土木)		96	98	98.6	97.6	95.8
KPI 建設キャリアアップシステム*1現場登録率	%	—	75	100	100	100
生産性(一人当たり売上高)(グループ)*2	億円	—	—	0.67	0.65	0.67

*1 「建設キャリアアップシステム」についてはP.112用語集参照 *2 対象は当社とグループ19社

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

社会貢献活動支出額に関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
社会貢献活動支出額	百万円	700	838	492	787	673

調達慣行/人権に関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
KPI サプライヤーのサステナブル調達評価項目適合率(グループ)	%	74.2*	—	92.1	—	91.3
人権研修実施率	%	97.9	97.4	99.5	95.3	96.0
先住民族の権利を侵害した事例	件	—	—	—	0	0

* 2018年度数値はサステナビリティ活動平均実施率

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

ステークホルダーエンゲージメントに関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
団体交渉協定の対象となる全従業員の割合	%	—	90.6	90.8	90.1	89.8
労働組合加入率		100	100	100	100	100
従業員満足度*		—	80.8	—	77.6	—

* 対象は当社の組合員で隔年で実施

男性の賃金に対する女性の賃金の割合

※男女賃金は、平均年齢の差等により差異が生じているが、制度上の差はない

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
全従業員(就業人員)	%	—	—	—	58.2	59.2
正規雇用		—	—	—	57.4	59.4
総合職		—	—	—	66.0	68.7
専任職		—	—	—	72.1	69.5
担当職		—	—	—	83.3	78.8
非正規雇用		—	—	—	58.3	58.3

管理職に占める女性の割合、男性労働者の育児休業取得率及び労働者の男女の賃金の差異については、当社Webサイトをご覧ください。

Web Q
「ESGデータ」

ガバナンスデータ

取締役数・監査役数・執行役員数

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
取締役数	名	12	12	12	12	12
男性		11	11	11	11	11
女性		1	1	1	1	1
うち社外取締役		4	4	4	4	4
男性	3	3	3	3	3	
女性	1	1	1	1	1	
監査役数	名	6	6	6	6	6
男性		6	6	5	5	5
女性		0	0	1	1	1
うち社外監査役		4	4	4	4	4
男性	4	4	3	3	3	
女性	0	0	1	1	1	
執行役員数	名	58	59	58	63	64
男性		58	59	58	63	64
女性		0	0	0	0	0

役員報酬に関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
取締役	百万円	755	741	814	738	669
うち社外取締役		46	58	62	62	54

倫理/政治寄付/情報セキュリティに関するデータ

(年度)

指標	単位	2018	2019	2020	2021	2022
グループ理念体系eラーニング受講率	%	97	94	94	95	97
企業倫理ヘルプライン、グループヘルプライン対応率(グループ)*1	%	100	100	100	100	100
通報制度運用実績(グループ)*1	件	—	24	28	30	73
政治寄付額	百万円	—	18	18	18	18
KPI 腐敗防止等を含むコンプライアンス研修受講率	%	100	100	100	100	100
腐敗行為及び贈収賄に起因する解雇人数	名	—	0	0	0	0
KPI 重大な情報セキュリティ事故件数(グループ)*2	件	0	0	1	0	0
情報セキュリティ教育実施回数	回	19	5	4	3	6

*1 対象は当社とグループ会社21社 *2 対象は当社と主要グループ8社

※KPI=重要業績指数(2021-2023)

会社情報

商号
大成建設株式会社
(英文名 TAISEI CORPORATION)

設立年月日
1917年(大正6年)12月28日

資本金
122,742,158,842円

従業員数(単体・就業人員数)
8,613名

代表者
代表取締役社長 相川 善郎

主要な拠点(2023年4月1日現在)

●本店
東京都新宿区西新宿一丁目25番1号
TEL. 03(3348)1111(大代表)

●支店
東京支店(東京都新宿区)
関西支店(大阪市)
中部支店(名古屋)
九州支店(福岡市)
札幌支店
東北支店(仙台市)
中国支店(広島市)
横浜支店
北信越支店(新潟市)
四国支店(高松市)
千葉支店
関東支店(さいたま市)
神戸支店
京都支店
国際支店(東京都新宿区)

●海外拠点
台北営業所
フィリピン営業所(マニラ)
シンガポール営業所
クアラルンプール営業所
ジャカルタ営業所
インド営業所(ブルガラム)
中東営業所(ドーハ)
北アフリカ営業所(カイロ)
バングラデシュ営業所(ダッカ)

●技術センター(横浜市)

主要な子会社

●国内
大成口テック(株)(東京都新宿区)
大成有楽不動産(株)(東京都中央区)
大成ユーレック(株)(東京都港区)
大成設備(株)(東京都新宿区)
大成建設ハウジング(株)(東京都新宿区)
成和リニューアルワークス(株)(東京都港区)

●海外
ピナタ・インターナショナル(ベトナム)
大成フィリピン建設(フィリピン)
大成タイランド(タイ)
大成プロインタン建設(インドネシア)
大成ミャンマー(ミャンマー)

株式情報

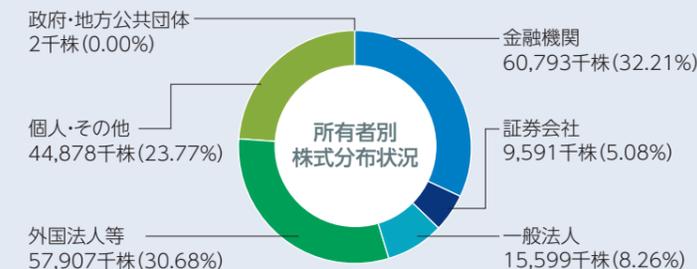
発行可能株式総数
440,000,000株

発行済株式の総数
188,771,572株(自己株式301,634株を含む)

株主数
57,413名

株式分布状況

●所有者別状況



●上場証券取引所
東京・名古屋

●証券コード
1801

●株主名簿管理人
みずほ信託銀行(株)

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	31,310	16.61
(株)日本カストディ銀行(信託口)	11,502	6.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	6,123	3.25
大成建設取引先持株会	6,049	3.21
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	5,857	3.11
大成建設社員持株会	3,757	1.99
ステートストリートバンク ウェストクライアント トリーティー 505234	3,051	1.62
明治安田生命保険相互会社	2,847	1.51
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	2,836	1.51
ステートストリートバンク アンドトラストカンパニー 505103	2,427	1.29

(注)持株比率は自己株式(301,634株)を控除して計算しています。なお、自己株式301,634株には株式給付信託(BBT)が保有する当社株式104,300株は含まれていません。

●グリーンボンド/サステナビリティ・リンク・ローン

大成建設は、環境課題への取り組みについて幅広いステークホルダーの皆様にご認識いただくとともに、脱炭素社会の実現に資することを目的として、グリーンボンドを発行、及びサステナビリティ・リンク・ローンの契約を実施しました。

Web Q

「サステナブルファイナンス」

用語集

大成建設グループの施策や、技術とサービスに関連する独自の用語のほか、建設業界の取り組みについて簡潔に紹介します。

BIM	Building Information Modelingの略で、コンピューター上に構築した3D建物モデルに建築部材や設備機器の仕様や配置、コストなどの属性情報を紐づけた建築情報データベース。
CIM/T-CIM®	情報通信技術CIM(Construction Information Modeling)。T-CIM®はCIMを活用した施工システムと、各工事の3次元モデルに関連する属性情報を紐づけて統合した当社独自のシステム。
CCUS(建設キャリアアップシステム)	協力会社組織との連携強化を図り、建設技能労働者一人ひとりが持つ技能、経験及び資格や社会保険の加入状況などを業界統一ルールの下で登録・見える化するシステム。
DXアカデミア	デジタル技術やデータを武器に、事業/業務/企業文化の変革を牽引するDX人材を育成する教育機関。全社から人材を集め、プロジェクト実践型教育によってDXスキル・マインドを養成。
健康管理残業時間	健康障害防止措置(医師の面接指導等)を講ずるか否かの判断に用いる残業時間。法定時間外労働時間と法定休日労働時間の合計。
ジョブ・リターン	依願退職後、退職した事由の解消・緩和などによって再就職を希望する社員に対して、会社及びグループ会社の求人情報を提供し、職場復帰の機会を提供する制度。
スコープ1, 2, 3	事業活動に関係するあらゆるCO ₂ 排出量を、活動の段階ごとに区分したものを。 スコープ1: 工事施工中の軽油など化石燃料の使用によるもの スコープ2: 本支店や作業所等における電気の使用によるもの スコープ3: 建設資材が製造されるまでに発生するCO ₂ 、引渡後に顧客が建物を使用する際に発生するCO ₂ や建物解体時に発生するCO ₂
倉友会・安全衛生環境協会	倉友会は、当社と会員各社との連携強化を目的とする当社と基幹協力会社の会。2023年3月末現在で、617社が加入。 安全衛生環境協会は、当社と協力して労働災害防止活動、環境保全活動を行うことを目的とする協力会社の会。当社と契約して工事を行う全ての専門工事業者が加入。2023年3月1日現在で7,930社。
大成建設グリーン調達ガイドライン	建築物及び構造物の設計・施工・運用・解体時に環境負荷を低減する資機材及び工法の適用を推進するためのガイドライン。以下の項目を満たす品目を選定する。 1. ライフサイクルCO ₂ *が小さい 2. 省エネルギー・省資源になる 3. 施工・解体時の建設廃棄物の発生量が少ない 4. 再生材料の使用や再生使用に配慮している 5. 有害物質を含まない 6. 生物多様性及び地域環境に配慮している * ライフサイクルCO ₂ : 建設物の建設から廃棄に至る使用期間全体のCO ₂ 生涯排出量
TAISEI Green Target 2050	当社グループが2050年に向けて定めたグループ長期環境目標。脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の「3つの社会」の実現と、森林資源・森林環境、水資源・水環境の「2つの個別課題」の解決を目指している。脱炭素社会においては「カーボンニュートラル」、循環型社会では「サーキュラーエコノミー」、自然共生社会では「ネイチャーポジティブ」の実現・深化に取り組む。 ・カーボンニュートラル: CO ₂ などの温室効果ガスの排出量から、植林や森林管理などによる吸収量を差し引いて合計を実質的にゼロにすること ・サーキュラーエコノミー: 従来の3R(リデュース・リユース・リサイクル)に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、付加価値を生み出す経済活動のこと ・ネイチャーポジティブ: 自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること
大成建設グループサステナブル調達ガイドライン	当社グループと取引先が協働して実施する事項をまとめたガイドライン。以下の11項目で構成。 1. 法令・社会規範の遵守 2. 公平・公正な取引 3. 人権の尊重 4. 安全・衛生の推進 5. 環境保全への取り組み 6. 安全性・品質の確保と向上 7. 情報開示 8. 情報セキュリティの徹底 9. 社会貢献活動への取り組み 10. 災害時における事業活動の継続 11. サステナブル調達の推進
TAISEI OHSMS	ILOや厚生労働省のガイドラインを参考に策定した当社独自の労働安全衛生マネジメントシステム。
TAISEI QUALITY®	大成建設グループ全体の品質推進活動を、一言で表したスローガン。当社グループの社員がプライドを持って、品質の確保に努めることで、お客様や社会から信頼を得ることを目指している。